広　　場

研究会等

日本学術会議公開シンポジウム

遺伝子組換え作物と植物保護

日時：平成29年12月2日（土）13:00〜17:30

場所：東京大学農学部2号館化学第一教室
東京メトロ南北線「東大前」下車 徒歩2分

主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会・植物保護科学連合（日本植物病理学会，日本応用動物昆虫学会，日本農薬学会，日本雑草学会，植物化学調節学会）

プログラム：

遺伝子組換え作物を含む新規育種技術開発の現状と今後の展望
小松　晃（農研機構生物機能利用研究部門）

遺伝子組換え作物の規制の動向と課題
高島　賢（農林水産省消費・安全局農産安全管理課）

新規育種技術で作出した作物が生物多様性に及ぼす影響
與語　靖洋（農研機構農業環境変動研究センター）

組換えカイコの使用等による生物多様性影響について
冨田　秀一郎（農研機構生物機能利用部門）

植物ケミカルバイオロジーによる植物遺伝子組換え技術の新しい展開
中野　雄司（理化学研究所環境資源科学研究センター）

Virus-Induced Flowering (VIF) 技術の植物育種への利用
吉川　信幸（岩手大学農学部）

米州における遺伝子組換え作物の現状と抵抗性雑草対策
定　由直（住友化学㈱健康・農業関連事業研究所）

総合討論

申込及びお問い合わせ先：筑波大学生命環境系　松本　宏
〒305-8572茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL/FAX　029-853-6417
E-mail:hmatsu@biol.tsukuba.ac.jp

参加費：無料

事前参加申し込み締切：11月24日（金）
（当日は申し込みなしでの参加も可能ですが，できるだけ事前にメールでお申し込みください。）

農食事業28020C 研究会

雑草イネ・漏生イネ防除研究の現状と課題2017

日時：平成29年12月20日（水）14:30〜16:30

場所：秋葉原UDX（UDXギャラリーネクスト2）
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1

プログラム：

雑草イネ・漏生イネ研究の現状と農食事業における取り組み
内野　彰（農研機構中央農業研究センター）

蒸気処理防除機による水稲収穫後の雑草イネ防除
浅井元朗（農研機構東北農業研究センター）

ドローン空撮画像を利用した雑草イネ発生圃場の検出技術
渡邉　修（信州大学）

総合討論

会議出席申し込み：
エクセルファイル（下記からダウンロード）に出席申し込みを記載し，メール添付ファイルで，下記連絡先宛にお送りください。締め切りを12月11日（月）17時とします。

連絡先（事務局）：雑草イネ・漏生イネ研究会
農研機構中央農業研究センター生産体系研究領域
東海輪作体系グループ　内野　彰
E-mail：uchino@affrc.go.jp
〒514-2392 三重県津市安濃町草生 360
TEL：050-3732-6450，FAX：059-268-1339
開催要領，エクセルファイル等は下記からダウンロードしてください。
http://cse.naro.affrc.go.jp/uchino/weedyrice/workshop2017.html

平成29年度緑地管理研究会開催報告

植調協会では，水田畦畔，農道等の農耕地周辺や，道路法面，鉄道沿線などの場所を対象に，それぞれの管理目的に応じ，植生を枯らすことなく雑草の伸長を長期間抑制することを目的とした抑草剤の開発・利用に関する試験研究に取り組んできました。平成19年度からは，緑地管理分野における抑草剤を主体とした薬剤の効率的な利用を目的として，鉄道，高速道路，電力会社等ユーザー各社による現地試験が実施され，その試験結果の報告などを行う研究会を毎年開催しています。

平成29年度は，河川堤防での植生管理に焦点を当てた研究会を，茨城県古河市周辺を会場にして8月7日に開催し，河川管理関係者7名，高速道路，電力会社等ユーザー関係者19名，農研機構および試験場関係者8名，農薬会社等の関係者49名ほか，計99名の方々の参集が得られました。